2018年度

## 高校生のための

# 「出張講義・講演」一覧

新潟食料農業大学では将来、食・農・ビジネス分野に興味のある高校生を対象に、本学教員による「出張講義・講演」を実施いたします。
”食”に関するそれぞれの分野で活躍する実績と経験豊富な教員による専門的な教育・研究をテーマにした模擬実験・講義や”大手食品メーカー”など民間企業での実務経験豊かな教員による講演・ワークショップなど幅広いテーマから様々な講義・講演を行います。是非今後の進路選択の参考にして頂ければ幸いです。

つきましては、今年度の講義・講演内容を掲載した一覧を作成いたしましたので、今後の進路指導等にご活用ください。ご希望の講義・講演がございましたら、本学入試事務室までお気軽にお問い合わせください。

**学部・学科**

## 食料産業学部　　食料産業学科

**選択コース（2年次より）**

**■アグリコース　　■フードコース　　■ビジネスコース**

**■お申込み**

**実施日の1か月前を目途に、ご希望の「講義番号」「担当教員」「希望日時（第１希望・第2希望）」と、「高校名・学年・受講予定人数・担当者および連絡先電話番号」をお知らせ下さい。後日、本学より詳細について連絡させて頂きます。尚、担当教員の都合等により、ご希望の講義内容および日時にお応えできない場合がございますので、あらかじめご了承下さい。また、同封の「出張講義・講演」一覧以外についてもご相談に応じておりますので、お気軽にお問い合わせください。**

新潟食料農業大学
Niigata Agro-Food University

〒959-2702 新潟県胎内市平根台2416　新潟食料農業大学　入試事務室
TEL　0254-28-9840　　FAX　0254-28-9856
E-mail　agrifood@nafu.ac.jp　URL http://nafu.ac.jp

**出張講義・講演一覧**

食料産業学部・食料産業学科（2年次選択コース：アグリコース/フードコース/ビジネスコース）

| | | |
|---|---|---|
| 教授 | **中井　裕** | 講義番号① **「微生物の力で食料産業廃棄物からエネルギーを生み出す」** |
| | | マイクロピペットを使って、実験の正確さを競う！微生物がつくる窒素化合物を測定します。 |
| | | 講義番号② **「最強の病原体を創造する！」** |
| | | 病気と微生物の関係について講義しながら、最強の病原体とはどのような微生物なのか皆さんと一緒に考えます。 |
| | | 講義番号③ **「食料生産の廃棄物は宝の山」** |
| | | ”食”の生産で発生する廃棄物を利用して、食料、飼料、肥料、そしてエネルギーを作り出すことができます。<br>環境にやさしい”食と農”の生産について考えよう。 |
| 教授 | **伊藤　豊彰** | 講義番号④ **「生物と環境にやさしい農業を考える」** |
| | | 参加型のアクティブラーニングの授業で、生物と環境にやさしい農業について、皆さんと一緒に考えます。 |
| 教授 | **渡邉　剛志** | 講義番号⑤ **「食品に欠かせない微生物の役割を知ろう～酵素の働きを見て・聞いて・体験～」** |
| | | 私たちの暮らしや食品づくりに欠かせない微生物の種類や重要性を紹介し、その利用について微生物の酵素を中心に<br>体験的に講義します。 |
| 講師 | **浅野　亮樹** | 講義番号⑥ **「環境をまもる微生物の力」** |
| | | 微生物には川の水を綺麗にする力があります。大学で使用する専門的な実験機器を使って、水質の測定を体験しよう！ |
| | | 講義番号⑦ **「”食”と”農における微生物の働きを解明！」** |
| | | 微生物の働きなくして、農業は成り立ちません。縁の下の力持ち、”微生物”がどのような働きをするのか<br>一緒に解明しましょう！ |
| 助教 | **柴田　誠** | 講義番号⑧ **「土が水や養分を保持する力を比べてみよう～農作物と土の深い関係～」** |
| | | 砂質土壌と火山灰土壌を使って、浸水生や水分保持力を比較します。土壌の特性に合わせた農作物の作り方を一緒に<br>考えます。 |
| | | 講義番号⑨ **「おいしい農作物を育てるための”良い土”の条件を考える」** |
| | | よりおいしい農作物を育てるためには、「土」の持つ働きを理解することが重要です。性質の違う土を使って、水持ちと水はけの違いを<br>実験で比べ、それぞれの農作物に合う”良い土”の条件とは何か、一緒に考えましょう。 |
| 教授 | **丸山　純一** | 講義番号⑩ **「食中毒の防止は手洗いから」** |
| | | 食品を作る現場では常に「衛生管理」に気を付けますが、その中でも最も重要で身近な対策が「手洗い」です。<br>人々の口に入るものを作る上での衛生管理の責任・重要性について講義しながら、自分の手洗いの仕方で食中毒が<br>防げるかどうか、特殊な検出機器を使って測定します。 |
| 教授 | **長島　裕二** | 講義番号⑪ **「食品表示の見分け方」** |
| | | 食品表示をじっくりと見たことがありますか？普段皆さんが食べているお菓子を使いながら、食の安全・安心について講演<br>します。 |
| 教授 | **横向　慶子** | 講義番号⑫ **「キリン「午後の紅茶」開発秘話」** |
| | | 発売33年目を迎えるキリン「午後の紅茶」の開発に携わった講師が、開発背景と清涼飲料市場の変化を見ながら、<br>”飲み物の味を作る”ことについて講義します。 |
| | | 講義番号⑬ **「自分の味覚を調査しよう！」** |
| | | 私たちは普段、五感を使って食事をしています。実際に目隠しをし、鼻をつまんで飲み比べを行い、視覚・聴覚情報がある<br>場合と無い場合の味覚の違いを体験しよう。 |
| 講師 | **阿部　憲一** | 講義番号⑭ **「おいしさと微生物のあま～い関係」** |
| | | チーズやヨーグルト、醤油、味噌など、おいしい食品づくりと微生物には深い関わりがあります。発酵食品である<br>甘酒の飲み比べや、微生物がつくり出す酵素の働きを体感して、食品と微生物の深い関係性を知ろう！ |
| | | 講義番号⑮ **「食品中の異物混入を明らかにしよう！」** |
| | | 身近な食材小麦粉、最近注目を浴びている米粉をもちいて、食品中の異物混入を検査する模擬実験を行います。 |
| 教授 | **鈴木　孝男** | 講義番号⑯ **「今、食と農がオモシロイ！食の可農性を引き出す農村ビジネス」** |
| | | 農村の持つ豊かな資源に着目し、どのように価値を高め、住民の暮らしを維持・発展していくかを考え、農村ビジネスについてお話します。 |
| | | 講義番号⑰ **「地方を元気にする方法を考えよう！」** |
| | | 農村の魅力を活かして、様々な交流ビジネスを生み出していく可能性や地域を元気にする方法について、ヨーロッパの例を<br>交えながら皆さんと一緒に考えます。 |
| | | 講義番号⑱ **「若者の野菜離れの解決策を考えよう」** |
| | | ワークショップ形式の講義で、年々減少している若者の野菜摂取量の回復方法や、生産者や飲食・販売業等の収益<br>増につながるビジネスを一緒に考えよう。 |
| 教授 | **高力　美由紀** | 講義番⑲ **「食の明日を考える、商品開発の仕組み」** |
| | | より多くの人が食べたくなる商品、行きたくなる店舗とはなんだろう。商品開発の仕組みを体験しながら、<br>日々進化している食の明日を考えよう。 |
| 教授 | **武本　俊彦** | 講義番号⑳ **「農業の始まりと経済の関係」** |
| | | 農業が始まることで起こった時代の変化と経済について講義します。時代を大きく動かしてきた農業と経済の関係から今後<br>の農業について考えよう。 |

※上記の講義内容・担当教員以外についてもご相談に応じておりますので、お気軽にお問い合わせください。

教員一覧

| 職位 | 氏名 | 学位 | 専門分野 |
|---|---|---|---|
| 教授 | 中井　裕 | 農学博士<br>東北大学　1982 年 | 環境微生物学、寄生虫学 |
| 教授 | 伊藤　豊彰 | 農学博士<br>東北大学　1994 年 | 土壌肥料学、栽培学、環境科学 |
| 教授 | 荒木　肇 | 農学博士<br>北海道大学　1985 年 | 蔬菜園芸学、栽培学、農作業体系学 |
| 講師 | 佐藤　豊三 | 農学博士<br>筑波大学　1982 年 | 基礎微生物学、微生物多様性・分類、農学、植物病理学、菌学 |
| 講師 | 浅野　亮樹 | 博士(農学)<br>東北大学　2007 年 | 環境微生物学 |
| 講師 | 趙　鉄軍 | 博士(農学)<br>東京農工大学　2011 年 | 農業工学、農学、農芸化学<br>（施設園芸・植物工場、非破壊計測、画像処理、農業生産環境、植物成長・生理） |
| 助教 | 柴田　誠 | 博士(農学)<br>京都大学　2018 年 | 土壌学、環境農学、生態系生態学 |
| 教授 | 丸山　純一 | 農学博士<br>東京大学　1985 年 | 食品安全・管理 |
| 教授 | 渡邉　剛志 | 農学博士<br>東北大学　1984 年 | 応用微生物学 |
| 教授 | 長島　裕二 | 農学博士<br>東京大学　1989 年 | 食品化学、生理活性化学 |
| 教授 | 横向　慶子 | 農学博士<br>東北大学　1993 年 | 食品加工、栄養科学、食品開発学、官能評価 |
| 教授 | 早川　喜郎 | 博士（工学）<br>名古屋大学　2000 年 | 食品加工、食品工学 |
| 講師 | 阿部　憲一 | 博士（工学）<br>長岡技術科学大学　2011 年 | 環境工学 |
| 助教 | 佐藤根<br>妃奈 | 農学博士<br>九州大学　2010 年 | 水産物環境学、水産化学 |
| 講師 | Llave Perez<br>Yvan Antonio | 博士（海洋科学）<br>東京海洋大学　2012 年 | 食品工学（特に加熱・調理操作） |
| 教授 | 鈴木　孝男 | 博士（政策科学）<br>同志社大学　2012 年 | 地域計画・農村計画 |
| 教授 | 武本　俊彦 | 法学士<br>東京大学　1976 年 | 食料経済学、食料・農業・農村政策学 |
| 教授 | 木下　勝一 | 経営学修士<br>大阪市立大学　1968 年 | 会計学 |
| 講師 | 青山　浩子 | 文学士<br>京都外国語大学　1986 年 | 農業ビジネス、6 次産業化、農食連携、農村ビジネス、農業における女性活動 |

# 高校生のための「出張講義・講演」

## お電話またはFAXにてお申込みください。

| | |
|---|---|
| お電話でのお申込み<br>■受付時間【平日】9：00～17:00 | ☎ 0254-28-9840 |
| FAXのお申込み<br>■24時間受付中（年中無休） | 0254-28-9856 |

※出張講義・講義一覧に掲載されている講義内容・担当教員以外についてもご相談に応じておりますので、お気軽にお問い合わせください。
なお、担当教員の都合により、ご希望の講義内容および日時にお応えできない場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

## FAX申込書

▼下記の必要事項にご記入のうえ、FAXにてお申込みください。

| 申込日 | 年　月　日 |
|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ | | | |
| 高校名 | | | |
| フリガナ | | | |
| 担当者様<br>氏　名 | | | |
| 住　所 | 〒　- | 都道府県　市区郡 | |
| | | | |
| ☎TEL | （　） | FAX | （　） |
| E-mail | | | |
| 【希望連絡方法】 TEL・FAX・メール　【希望連絡時間】 希望なし ・ 時～ 時 可 ・ 不可 | | | |
| 受講希望<br>講義番号 | | 講義担当<br>教員名 | |
| 受講学年 | 年生 | 受講予定<br>人　数 | 名 |
| 本学パンフレットの配布について | 可 ・ 不可 | 個人情報の取得につきまして<br>（イベント案内等を希望する方に任意にて記入用紙を配布します） | 可 ・ 不可 |
| 受講希望<br>日　時 | 第１希望 | 年　月　日　時　分 ～ 時　分 | |
| | 第２希望 | 年　月　日　時　分 ～ 時　分 | |
| その他確認事項について | | | |

新潟食料農業大学
Niigata Agro-Food University

〒959-2702 新潟県胎内市平根台2416　新潟食料農業大学　入試事務室
TEL　0254-28-9840　　FAX　0254-28-9856
E-mail　agrifood@nafu.ac.jp　URL http://nafu.ac.jp

新潟食料農業大学

# 大学見学会

高校生やPTAの方々を対象に、学校単位で「大学見学会」を実施しております。大学の概要説明や施設見学、教員による模擬授業など、希望に沿って実施することが可能です。ぜひ、この機会に新潟食料農業大学までお越しください。

## 見学内容例

### 大学概要説明

本学の特色や食料産業学部独自のカリキュラム、目指す将来像などをご説明します。

**（所要時間　25分～40分）**

### キャンパス見学

最新の実験機器や、実験室、温室、畑などの実習施設、学生食堂や学生ラウンジを見学します。

**（所要時間　30分～50分）**

### 模擬授業

体験型の模擬授業を中心に、教員による授業を行います。

**（所要時間　35分～50分）**

### 注意事項

※ 基本コースは、「大学概要説明」と「キャンパス見学」です。（所要時間1時間30分程度）

※ 所要時間はあくまでも目安です。可能な限り要望にあわせて調整いたしますので、まずはお問合せください。

※ 学食の利用は受け付けておりませんので、ご了承ください。

**実施キャンパス**　**胎内キャンパス**（新潟県胎内市平根台2416）

## 申込方法

実施予定日の1か月前までにお申し込みください。可能な限りご要望に添うようにいたしますが、学内行事等が重なる場合や申込が集中した場合等の事情によりお断りする場合もありますので、ご了承ください。

**TEL**　**0254-28-9840**（入試事務室）

**FAX**　以下の事前申込書に必要事項を記入し **0254-28-9856** にFAXしてください。

## 大学見学会事前申込書

以下の項目を記入し、FAXにてご送付下さい。後日、本学担当者よりご連絡させていただきます。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 学校名 | | 希望日 | 第1希望日 | 月　　日（　　） |
| | | | 第2希望日 | 月　　日（　　） |
| 担当者名 | （担当：　　） | 希望見学時間 | | 時　　分 ～　　時　　分 |
| TEL | ー　　ー | 希望内容に〇をつけてください<br>見学希望内容 | | 大学概要説明　　キャンパス見学<br>模擬授業<br>その他（　　） |
| FAX | ー　　ー | | | |
| 参加者 | 1年生　2年生　3年生　保護者　その他 | | | |
| 参加人数 | 約　　人 | | | |